

第6次川西市総合計画 全体の構成案

※本資料は令和5年2月20日時点の案であり、今後変更する場合があります。

目次

第1章 基本構想

私たちがめざすもの

まちの未来像

私たちが大切にしたい、4つの基本姿勢

第2章 基本計画

2032年の展望

川西市の今（現状）

今後予測される社会潮流の変化

それぞれの主体に求められる姿勢

まちづくりの進捗を測る総合指標

8年間でやること

重点プロジェクト

- _____
- _____
- _____

1 人が豊かに育つまちの実現

2 にぎわいが生まれるまちの実現

3 安心安全を備えたまちの実現

4 快適な環境で暮らせるまちの実現

5 変革の歩みを止めないまちの実現

第3章

総合計画について

- 総合計画Q&A
- 計画の体系図
- 策定のプロセス

第4章

資料編

- 川西市の歩み
- 統計データ集、個別計画との関連
- SDGsとの関連
- 用語集

第1章 基本構想

私たちがめざすもの

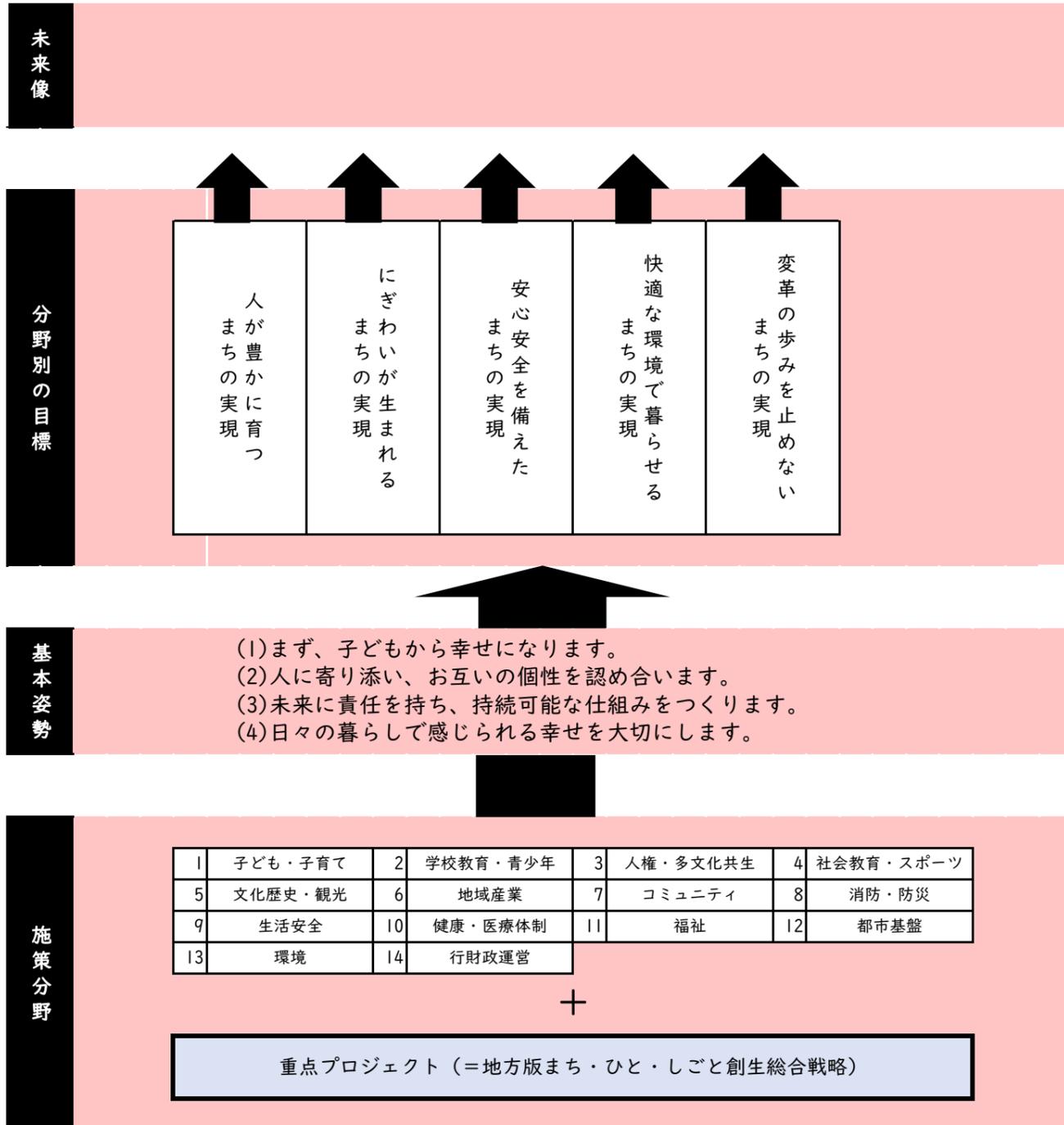
まちの未来像

私たちが大切にしたい、4つの基本姿勢

まちの明日に必要なのは、その地に根ざした「愛着」です。子どもたちの元気な声に囲まれ、1人ひとりの活力が満ちあふれ、いつまでも安心して暮らせるまち——

皆さんが何気ない日々の中で感じられる幸せ。その積み重ねが心地よさをはぐくみ、集う人の笑顔を紡ぎます。

市民の誰もが主役となり、住み慣れたこの地で自分らしく、いきいきと輝ける。そんなまちを、みんなでつくりましょう。



	1	2	3	4	5
(1)まず、子どもから幸せになります。	ま 人 ち が の 豊 か に 育 つ の 実 現	ま に ぎ わ い が 生 ま れ る の 実 現	ま あ ん し ん の 実 現 を 備 え た の 実 現	ま 快 適 な 実 現 環 境 で 暮 ら せ る の 実 現	ま 変 革 の 実 現 の 歩 み を 止 め な い の 実 現
(2)人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。					
(3)未来に責任を持ち、持続可能な仕組みをつくります。					
(4)日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。					
★ 重点プロジェクト1	★	★	★		★
★ 重点プロジェクト2		★	★		★
★ 重点プロジェクト3		★		★	★
施策1	●				
施策2	●				
施策3	●				
施策4	●				
施策5		●			
施策6		●			
施策7	○	○	●		
施策8			●		
施策9			●		
施策10			●		
施策11			●		
施策12		○	○	●	
施策13				●	
施策14					●

各施策および重点プロジェクト1つにつき原則1つの指標を設定。ただし、1つの施策の中に複数の(小)施策がある場合は、それぞれにつき1つの指標を設定する。

まちづくりを進めるうえで、行政だけではなく、川西に関わる皆さんと一緒に大切にしたいと考えている”基本的な姿勢(想い)”です。

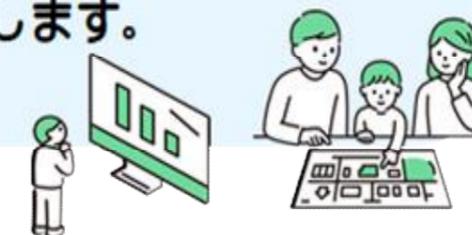
(1) まず、子どもから幸せになります。

子どもたちの笑顔は、世代を超えたにぎわいや活力を地域にもたらします。笑顔あふれる子どもの成長を通じて、あらゆる市民が幸せを感じられるまちをめざします。



(3) 未来に責任を持ち、持続可能な仕組みをつくります。

私たちは、このまちを未来の子どもたちにしっかりと引き継ぐ責任があります。そのために、人口減少社会や自然災害等を見据え、既存のまちのあり方を柔軟に見直し、持続可能なまちをめざします。



(2) 人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。

誰もが、地域の一員として誰かを支えたり、フォローできる役割を少しずつ持っています。各々のペースでまちに関わりながら互いを尊重し、多様な個性を認め合えるまちをめざします。



(4) 日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。

1人ひとりに安らげる居場所や充実した時間があることで、このまちで過ごす時間がかけがえのない思い出になっていきます。「やってみたい」ことに自らチャレンジでき、それを応援しあえるあたたかいまちをめざします。



第2章 基本計画

2032年の展望

川西市の今（現状）

今後予測される社会生活の変化

それぞれの主体に求められる姿勢

各項目は現在のイメージであり、変更する場合があります

社会減（転出超過）

過去数値 △●●●人 平成25(2013)年	→	現状値 △●●●人 令和3(2021)年
------------------------------	---	----------------------------

問題点等の分析

20歳代が就学、就職などを機に市を離れてしまう。一方で、30歳代女性と10歳未満の子については平成30(2018)年から令和3(2021)年にかけて転入超過の傾向にある。

高齢化率

過去数値 ●●●%	→	現状値 ●●●%
--------------	---	-------------

問題点等の分析

昼夜間人口比率

過去数値 △●●●人 平成25(2013)年	→	現状値 △●●●人 令和3(2021)年
------------------------------	---	----------------------------

問題点等の分析

住宅都市として発展してきた背景から、通学や通勤などで昼間は市外に出る人が多い。

昼間人口比率

過去数値 ●●●%	→	現状値 ●●●%
--------------	---	-------------

問題点等の分析

人口減少率

過去数値 △●●●%	→	現状値 △●●●%
---------------	---	--------------

問題点等の分析

出生率

過去数値 △●●●%	→	現状値 △●●●%
---------------	---	--------------

問題点等の分析

小中学生の人数

過去数値 △●●●人 平成25(2013)年	→	現状値 △●●●人 令和3(2021)年
------------------------------	---	----------------------------

問題点等の分析

将来的な生産年齢人口の減少が懸念される。

国民健康保険年間医療費

過去数値 ●●●千円 平成25(2013)年	→	現状値 ●●●千円 令和3(2021)年
------------------------------	---	----------------------------

問題点等の分析

●●●●●●●●●●により、医療費が●●●●●傾向にある。

避難行動要支援者数

過去数値 △●●●人 平成25(2013)年	→	現状値 △●●●人 令和3(2021)年
------------------------------	---	----------------------------

問題点等の分析

災害時に不安を抱える要支援者が増加している。

総人口の減少、年齢構成の変化などがもたらす地域社会への影響

総人口が減少し、年齢構成がアンバランスになっていく中で、地域では様々な課題が表出し、市の財政運営にも大きな影響を与えています。今後、こうした課題がさらに顕在化してくることが見込まれ、新たな課題への対応も必要になることが想定されます。

- 要介護・認知症・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加
- 高齢化率の上昇・生産年齢人口率の低下
- つながりの希薄化
→地域活動の担い手不足・活動の継続性の低下、防犯力・防災力の低下
- 空き家の増加
→適切に管理されない空き家が放置されることによる生活環境、住環境の悪化
- 児童生徒数の減少
- 共働き世帯の割合の増加
→保育や放課後の居場所づくりに対するニーズの多様化
- 人口減少による税収の減少
- 高齢化の進行による社会保障費の割合の増加

川西市HPのアクセス数

過去数値 △●●●人 平成25(2013)年	→	現状値 △●●●人 令和3(2021)年
------------------------------	---	----------------------------

問題点等の分析

20歳代が就学、就職などを機に市を離れてしまう。一方で、30歳代女性と10歳未満の子については平成30(2018)年から令和3(2021)年にかけて転入超過の傾向にある。

マイナンバーカード普及率

過去数値 ●●●%	→	現状値 ●●●%
--------------	---	-------------

問題点等の分析

普及を進めるとともに、行政サービスのデジタル化を更に推進する必要がある（全国●●●%）。

経常収支比率

過去数値 ●●●%	→	現状値 ●●●%
--------------	---	-------------

問題点等の分析

各項目の詳細なグラフなどは、巻末「資料集」に掲載予定

生涯学習の重要性
100年という長い期間の人生を充実したものにするためには、これまでのように教育・就労・老後の3ステージで考えるのではなく、幼児期から社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる「学び」が重要となる。

健康への意識
少子高齢化、人生100年時代の中では、働き続け、心身ともに豊かな人生を送るために、自分の健康維持に意識的になる人が増える。

長寿化に伴う人生設計の見直し
長寿化に伴い、人生100年時代を前提とした人生設計が必要となる。

人間関係の比重
リモートワークの定着により、会社での人間関係よりも、親しい友人、近隣、家族との人間関係に比重が置かれるようになる。

空き家の増加
〇〇年には全国の空き家数が〇〇戸、空き家率〇〇%であったものが、〇〇年には空き家数〇〇戸、空き家率〇〇%であったものが、になるとの推計がある。

勤務体制の柔軟化
リモートワークの定着により、毎日職場に通うという概念が変わり、オフィス（通勤）の必要性が弱まる。

公共交通機関の利用低下
リモートワークの定着や、パーソナルな移動空間を求める風潮から、公共交通機関の利用者が減少する。

リアルの付加価値
オンラインで完結する場面が多くなる一方で、リアルな体験や人間関係の価値は高まっていく。

誰もが働きやすい環境へ（保育サービスの需要）
出生数は減少していくものの、女性の就労が進むことにより、保育サービスの需要は減少しない。また、子育ての悩みを個人や家庭で抱え込まないよう、段階に応じて気軽に相談できる環境へのニーズが高まる。

教師の役割
ティーチングに主眼を置いていた教師の役割が、コーチング的なものに替わっていく。

住まいの選択条件
リモートワークの定着により、住まいの選択において、通勤の利便性のウェイトが弱まる。住まいをえらぶ際の要素として、地域自体の魅力・住環境・自然環境・地域のつながりなどがより価値を持つことになる。

公共施設の老朽化
高度経済成長期以降に整備された橋りょう、河川、下水道等の社会資本のうち、建設後50年以上経過する施設の割合が今後加速度的に高まる。

多様化によるイノベーション
障がい者、高齢者、外国人、女性の働き方の増加などにより、多様な人材が様々な場所で活躍することが当たり前になり、異なる価値観への相互理解も進んでいく。

個人向けワークスペースの需要
リモートワークの定着により、自宅とオフィスの中間となる、コワーキングスペースの需要が高まる。

オンライン化の加速
イベントや会議のオンライン開催が増えていき、様々なデバイスの遠隔操縦等、高度なオンライン化へのニーズが高まる。

脱炭素型社会へ
日本全体で2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロをめざすという国の目標に従い、行政、企業、市民に脱炭素につながる活動、行動が求められるようになる。

グリーンインフラの普及
経済成長一辺倒ではなく、自然豊かな環境で健康に暮らすことができる社会を求める価値観が普及する。自然環境が有する多様な機能を活かした土地利用計画を進める「グリーンインフラ」の考え方が広がる。

スマート自治体への転換
人口減少に伴い、2040年頃には従来の半分の職員数でも担うべき機能を発揮することができる「スマート自治体」への転換が求められる。このためには、新たな公共私協力の関係の

それぞれの主体に求められる姿勢

本市では少子高齢化に伴う人口減少が進展しており、この傾向が今後も続くことは明らかな状況にあります。また、行政運営においても人口減少や少子高齢化に伴い市税収入が減少するほか、社会保障関連費の割合の増加、公共施設やインフラ施設の老朽化に伴う維持修繕・更新費の増加など、財政状況は厳しさを増しています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により生活様式に大きな変化が生まれたほか、ロシアによるウクライナ侵攻を契機に、国際社会は不安定さを増しています。さらに、円安基調もあいまっての物価高騰の影響で、電力・ガス料金、食品価格などが相次いで値上げされるなど、市民生活も大きな影響を受けています。

こうした危機的状況の中でも、市民の安心・安全や、困っている人の支えとなるような基礎的施策はしっかりと取り組むべき一方で、これまでと同じ考え方で取り組むと肥大化する恐れのある行政組織やサービスを、その質を落とすことなく、見込まれる人口規模に合わせてコンパクト（小規模）化し、「選択と集中」や、「量から質への転換」を図っていく必要があります。

市民、地域団体、事業者等の皆さまには、これまでも、自助・共助・公助の観点から、自立した生活、活動をしていただいておりますが、今後はこれまで以上にそれぞれの力を高めていただくことが重要となることが想定されます。

10年前は、新しい感染症が世界中に広がり私たちの生活様式が変容する未来など、誰も想像し得ませんでした。ですが、今はその経験も乗り越えて「リアルからオンライン」の考え方が浸透し、住まいや働き方等の選択肢も多様化してきています。

それと同じように、このような時代だからこそ、川西の未来に向けて「今ある”当たり前”がこれからも同じままでいいのだろうか。何を残し、何を变えていく必要があるのだろうか」という視点を、市民・地域団体・事業者・行政といったそれぞれの主体が共に考え、共に歩みを進め切り拓いていくことが必要です。



8年間でやること

重点プロジェクト（地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略を兼ねる）

- _____
- _____
- _____

重点プロジェクト（総合戦略）の紹介ページ（全体）

まちは、そこに暮らす人の生活で形づくられます。

8年後のめざすまちの姿（未来像）を実現するためには、まちづくりの主役である市民一人ひとりが笑顔で暮らせることが大切です。さらに、市民が結束し、自ら進んで取り組むことが総合計画を動かしていくことにつながります。

そのため、市民の理解・共有を重視し、特に重点的に取り組む3つのプロジェクトを掲げます。

これらは、川西市が今後取り組むまちづくりの優先事項や戦略性を示すものであり、行政だけではなく、市民とともに取り組む必要があります。

重点プロジェクト
1

重点プロジェクト
2

重点プロジェクト
3

この3つの戦略目標は、「市長と語る かわにしMeeting」や「かわにしミライ会議」でのディスカッション、また、審議会でも議論いただいた多くの意見を元に、川西市がめざすまちの姿の実現のため、重点的に取り組まなければならないものを掲げたものです。

分野別の目標

- 1 人が豊かに育つまちの実現
- 2 にぎわいが生まれるまちの実現
- 3 安心安全を備えたまちの実現
- 4 快適な環境で暮らせるまちの実現
- 5 変革の歩みを止めないまちの実現

施策の細分類と、関連する主な個別計画

分野別目標	(施策)	(小施策)	関連する主な個別計画
人が豊かに育つまちの実現	施策1 子ども・子育て	1 妊娠・出産・乳幼児支援	川西市子ども・若者未来計画
		2 子育て環境整備	
	施策2 学校教育・青少年	3 学校教育	学校施設長寿命化計画/在日外国人教育指針
		4 若者支援	
	施策3 人権・多文化共生	5 人権・多文化共生・男女平等	男女共同参画プラン/人権行政推進プラン
	施策4 社会教育・スポーツ	6 社会教育	
		7 スポーツ	
にぎわいが生まれるまちの実現	施策5 文化歴史・観光	8 文化芸術・歴史	史跡加茂遺跡保存活用計画
		9 観光	
	施策6 地域産業	10 商工振興	川西市産業ビジョン
		11 市街地活性	川西市中心市街地活性化基本計画/中央北地区まちづくり指針
		12 農業	
	13 雇用就労・働く場の創出		
安心安全を備えたまちの実現	施策7 コミュニティ	14 コミュニティ	参画と協働のまちづくり推進計画
	施策8 防災・減災	15 地域防災	川西市地域防災計画
		16 都市機能防災	川西市新型インフルエンザ等行動計画/川西市強靱化計画/川西市業務継続計画/川西市国民保護計画
		17 消防	
	施策9 生活安全	18 消費生活	
		19 防犯	
	施策10 健康・医療体制	20 健康増進	健幸まちづくり計画/川西市国民健康保険第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画
		21 地域医療	市立川西病院事業経営改革プラン
	施策11 福祉	22 地域福祉	地域福祉計画
		23 障害福祉	障がい福祉計画/障がい児福祉計画/障がい者計画(障がい者プラン2023)
		24 高齢者福祉	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
快適な環境で暮らせるまちの実現	施策12 都市基盤	25 都市基盤	川西市都市計画マスタープラン/川西市景観計画/川西市南部地域整備実施計画/新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画/公共施設等総合管理計画/公共施設等総合管理計画【個別施設計画編】/耐震改修促進計画
		26 住まい	川西市公営住宅基本計画/空家等対策計画
		27 道路	道路橋他長寿命化修繕計画 / 舗装修繕計画
		28 交通	自転車ネットワーク計画 / (仮称)川西市公共交通計画
		29 公園	公園施設長寿命化計画
		30 上下水道	川西市新水道ビジョン/川西市新下水道ビジョン
	施策13 環境	31 生活衛生	分別収集計画
		32 環境負荷の低減	一般廃棄物処理基本計画/第4次環境率先行動計画
		33 自然との共生	第2次環境基本計画/生物多様性ふるさと川西戦略/緑の基本計画
	変革の歩みを止めないまちの実現	施策14 行財政運営	34 行財政運営
35 職員育成			人材育成基本方針/特定事業主行動計画
36 ICT推進			川西市ICT総合戦略
37 広報広聴・魅力発信			広報戦略

分野別目標 | 人が豊かに育つまちの実現

■グローバル化や情報化、少子高齢化などの社会の急激の変化により、従来の価値観にこだわらず、新たな課題に対応することができる人財が求められています。
 ■子どもたちが大きな夢や志を持ち、健やかに成長し、豊かに力強く生きていくことができるような環境を整えるとともに、いくつになっても学ぶ心を持ち、自分らしさを互いに尊重できるまちをめざします。

基本計画

施策1 子ども・子育て

妊娠・出産・乳幼児支援

達成が望まれる日常の具体例
 ○子どもが欲しい人、子育てをしている人が、安心して子育てに向かうことができている。
 ○子どもと保護者を地域で見守り、困ったときに手を差し伸べている。

関連する代表的な計画
 川西市子ども・若者未来計画



子育て環境整備

達成が望まれる日常の具体例
 ○子どもの成長に応じて質の高いサービスを利用でき、安心とゆとりを持って子育てができている。
 ○子どもと保護者を地域で見守り、困ったときに手を差し伸べている。

関連する代表的な計画
 川西市子ども・若者未来計画



(仮称) 小施策
 ・各施策を、個別計画などを参考に細かく分類したもの

施策2 学校教育・青少年

学校教育

達成が望まれる日常の具体例
 ○学校と地域社会、関係諸機関の連携のもと、児童・生徒の豊かな人間性や社会性が育まれている。

関連する代表的な計画
 (仮称) 川西市教育大綱/学校施設長寿命化計画/在日外国人教育指針



青少年

達成が望まれる日常の具体例
 ○家庭・学校・地域をはじめ、関係機関が連携して青少年を見守ることなどにより、健全な環境の中で青少年が健やかに育っている。

関連する代表的な計画
 川西市子ども・若者未来計画



施策3 人権・多文化共生

人権尊重・多文化共生・男女平等

達成が望まれる日常の具体例
 ○人権に関わる悩みやトラブルを相談しやすい環境が整い、市民が安心して暮らしている。
 ○家庭・学校・地域・職場等あらゆる生活の場において、互いの人権や文化を尊重する意識や行動が定着している。

関連する代表的な計画
 男女共同参画プラン/人権行政推進プラン



施策4 社会

達成が望まれる日常の具体例
 ・かわにしMeetingやかわにしミライ会議、アンケートなどを元に作成

達成が望まれる日常の具体例
 「〇〇を推進する」等の行政的な表現ではなく、取組みの結果、「市民の生活がどのように変化しているか」という視点で、簡潔に記載。

※個別計画所管課と調整予定

関連する代表的な計画

各施策の代表的なアウトカム指標
 ・原則、市民実感によるものを”除く”

※個別計画所管課と調整予定

評価指標

スポーツ

達成が望まれる
日常の具体例

○市民がライフステージに応じたスポーツや運動に取り組んでいる

関連する
代表的な計画

代表的な評価指標

週1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合



(参考) 第5次総合計画の「子育て」に関する記載との比較

施策 | 子ども・子育て

妊娠・出産・乳幼児支援

達成が望まれる
日常の具体例

○子どもが欲しい人、子育てをしている人が、安心して子育てに向かうことができている。
○子どもと保護者を地域で見守り、困ったときに手を差し伸べている。

関連する
代表的な計画

川西市子ども・若者未来計画

代表的な評価指標

妊娠から出産までに専門職による相談・支援等を受けた人の割合



子育て環境整備

達成が望まれる
日常の具体例

○子どもの成長に応じて質の高いサービスを利用でき、安心とゆとりを持って子育てができている。
○子どもと保護者を地域で見守り、困ったときに手を差し伸べている。

関連する
代表的な計画

川西市子ども・若者未来計画

代表的な評価指標

4月1日時点の厚生労働省定義の待機児童数



視点 3 生きがい | 政策 6 育つ

施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します

統括部署 こと未来部 | 関連部署 都市政策部/教育推進部

現状と課題

現状	課題
子ども・子育て支援法に基づき、川西市子ども・子育て計画を策定し、地域の子ども・子育て支援の充実や就学前の教育・保育の質の向上、子どもが健やかに育成される環境の整備をめざして、施策を総合的に推進しています。	同計画に基づき、様々な取り組みを総合的に進めているものの、合計特殊出生率は横ばいの傾向が続いており、出産年齢人口の女性が減少傾向にあることから、今後、さらなる子育て支援の充実を図る必要があります。
社会経済情勢の変化や女性の社会進出などにより、就学前児童に対する教育・保育の需要が増加傾向にあり、待機児童の解消には至っていません。	高まる教育・保育需要に対応するため、必要な施設整備などの対策を検討・実施し、早急に待機児童を解消する必要があります。
市立幼稚園・保育所の多くは、建築後40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。	安全で安心な教育・保育環境を確保するため、適切な維持管理を行うとともに、老朽化した施設については計画的に改修工事などを行う必要があります。
就学前の時期に、質の高い教育・保育を受けることができるよう、市立・私立の幼稚園・保育所・認定こども園などで、保護者の関心やニーズに対応しながら取り組みを進めています。	就学前児童がこころ豊かに、健やかに成長できるよう、安全で安心できる環境のもと、より一層、教育・保育の質を高める必要があります。
留守家庭児童育成クラブでは、全学年の受入れを実施しているものの、需要の高まりから待機児童が発生しています。	施設の改修や整備をはじめ、待機児童解消に向けて、民間事業者の活用など、さらなる対策を講じる必要があります。

*合計特殊出生率：ひとりの女性が一生の間に産む子どもの平均人数を推定する値で、15歳から49歳までの女性の出生率を合計したものをいう。人口統計上の指標として将来の人口予測などに用いられている。
*待機児童：国が定める入所要件を満たし、市町村へ保育所等の入所申込をしたが、保育所等へ入所できない児童をいう。

役割

市民	市民公益活動団体	事業者
・子どもを望む家庭が安心して子どもを産み、健やかに育てることができるよう、地域や家族で支援します。 ・それぞれの経験や技能を生かして、子どもたちの豊かな体験活動を支援します。	・子育てと就労の両立支援や子育て家庭の交流など、様々な分野で地域の子育て支援を実施します。 ・教育・保育環境の充実に向けて、各施設や関係団体と連携します。	・私立の幼稚園・保育所・認定こども園などにおいて、安全で安心な質の高い、教育・保育サービスを提供します。 ・地域における子育て支援サービスを提供します。 ・安全で安心な放課後の時間を提供します。

関連する個別計画
川西市子ども・子育て計画/川西市公共施設等総合管理計画
(仮称) 川西市学校施設長寿命化計画

施策 31

主な施策展開

- 子ども・子育てに関する総合的な環境整備の推進
子育てがしやすいまちとなるよう、子ども・子育て支援事業へのニーズの把握を行うとともに、経済的な困難への対応なども含め、必要な支援を提供できる体制をつくることとに、施策の充実を図ります。
- 高まる教育・保育需要への対応
子どもたちが身近な地域で健やかに育まれるよう、就学前児童の教育・保育施設の配置などを検討するとともに、必要な施設の定員数を確保するなど、待機児童対策を計画的に進めます。
- 就学前児童施設における環境整備の充実
建物の老朽化など、市立幼稚園・保育所が抱える課題の解決を図るとともに、子どもたちにより良い教育・保育環境を提供するため、施設の整備を進めます。また、既存施設の一体化整備や改修工事などについても、計画的に取り組むを進めます。
- 乳幼児期の教育・保育の推進
教育・保育に携わる職員の資質向上を図るため、研修機会の充実を図ります。また、児童の体力向上や食育などの取り組みを進めるとともに、特別な支援を必要とする就学前児童に合わせた教育・保育環境が提供できるよう、適切な支援に努めます。これらの取り組みなどを通じて、保育所・認定こども園・幼稚園と小学校の連携を推進します。
- 留守家庭児童育成クラブの環境整備の充実
各地区において必要な施設整備を行うにあたり、より良い育成環境を提供できる民間事業者の参入促進に努めるなど、小学校全学年の受け入れに対応した施設の整備・改修を進めます。また、留守家庭児童育成クラブ指導員の処遇改善を図ります。

施策評価指標

名称	方向性	最新値(H28)	目標値(H34)
「子育てがしやすいまち」と思う市民の割合	↑	52.6%(H29)	67.0%
保育所の入所待機児童数	↓	32人	0人
合計特殊出生率	↑	1.30	1.42
留守家庭児童育成クラブの入所待機児童数	↓	73人	0人



第5次総合計画の「子育て」に関する記載：10ページ

特徴：課題や施策の詳細については各個別計画から抜粋、再構成していたが、総合計画と策定(更新)のタイミングが合わない、もしくは策定から時間が経過するにつれ内容が古くなってしまうという課題があった。

➡第6次総合計画では各施策の要点を示し、詳細は対応する最新の個別計画を参照してもらえらるような構成にする

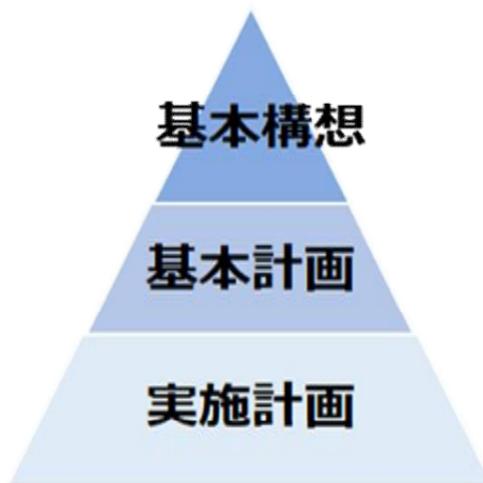
- 総合計画Q&A
- 計画の体系図
- 策定のプロセス

Q 総合計画とは？

A 川西市のまちづくりの基本となる最上位の計画です。

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されます。

- 基本構想 川西のまちづくりビジョン（未来像）と、それを実現するための基本的な考え方を示すもの
- 基本計画 基本構想に基づき、まちの未来像を実現するために取り組む施策を体系的に示すもの。また、**施策のなかでも重点的に推進していく「重点プロジェクト（仮称）」**を設定する（＝総合戦略）。
- 実施計画 施策を実施するための具体的な事業を定めるもの



Q なぜ必要？

A 川西市のまちづくりの方針を広く共有するためです。

川西市のまちづくりを総合的・計画的に進めるために必要です。また、ありたいまちの姿（未来像）と、未来像の実現に向けた目標を市民と共有し、一緒にまちづくりに取り組むうえでも大切な指針となります。

Q 「まちづくり」が市民の生活とどんな関係があるの？

A そもそも「まち」とは、そこに住む人の暮らしで形づくられるもの。

なので、総合計画で示す「まちづくり」は、大きな施設を建てたり、道路を造ったりする、いわゆる「ハコモノ」や「インフラ」とは限りません



例えば、あなた自身が笑顔で暮らせること——
それも、川西というまちを形づくる大切なものです



孫が育つ環境、認知症でひとり暮らしをしているご近所さんの見守り、身近な公園の使い方など…日常を振り返り、いろいろな生活のミライを考えてみてください



そして、みんなが笑顔で暮らせるために大切にしたいことや、そのための方法を話し合い、実現に向けてみんなで取り組む…

それが、総合計画で示す「まちづくり」の考え方です



Q 期間はある？

A あります。8年間の計画です。

基本構想と基本計画は、長期的な視点で進めるため、8年間としています。
※計画期間中に社会情勢が大きく変化した場合などは、見直しを検討します。



Q 誰が進める？

A あなたもまちづくりの一員（プレイヤー）です。

新しい総合計画のキーワード

- みんなでつくる計画
- わかりやすい計画
- みんなで達成をめざす計画

ポイントは、「みんなで」



策定過程

- **みんなでつくる計画とする**
策定過程から多くの市民が関わる機会を設け、ともにつくる計画とします。
- **わかりやすい計画とする**
みんなでまちづくりを進めるため、本市がめざす未来像や大切にしている考え方を市民・市民公益活動団体・事業者・行政が共有できるよう、シンプルでわかりやすい計画とします。
- **重点事項や優先順位が明確で、戦略性を持った計画とする**
限られた財源を必要な事業へ有効に配分するため、計画の策定段階から何に重点的に取り組むのかを明確にし、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねた計画とします。
- **個別計画と連動した計画とする**
総合計画は、全ての行政計画の上位計画とします。各個別計画の役割を明確にし、効果的なマネジメントサイクルを構築します。
- **SDGs(持続可能な開発目標)の推進**
「誰一人取り残さない」社会の実現を目指した令和12年(2030)年を期限とする国際目標の達成に寄与するため、SDGsの理念や目標を踏まえたまちづくりを進めます。

第6次総合計画

役割

まちの未来像を共有する

総合計画は市民・事業者・行政がめざす「未来の川西」を示す指針です。

大切にしている考え方を共有する

総合計画は市民・事業者・行政が大切にしている考え方を共有するものです。

行政の理念を示す

総合計画はめざす未来像を実現するために行政が大切にしている考え方を示したものです。

策定後

- **みんなで達成をめざす計画とする**
総合計画は、行政が実施する事業を記載した計画ではなく、市民・市民公益活動団体・事業者・行政が、未来像の実現に向け自主的かつ主体的に行動するための指針となるものです。また、計画を進めるなかで生まれた市民活動、市の事業、市民生活の変化等について共有できるようにします。
- **成長する計画とする**
社会情勢の変化、市民の価値観の多様化など、市を取り巻く状況は常に変化しています。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大は市民の生活に大きな影響を与え、これまでの常識を大きく変えるきっかけとなりました。アフターコロナの時代においても、市民の幸せを大切にしたいまちづくりを進めるため、実行段階においても、必要に応じてみんなで作り直せるようにします。
- **成果による適切な進行管理を行う計画とする**
市民が計画の進捗を定期的に確認できる環境を整えます。また、市事業の実施にあたっては適切な進行管理により、効果的かつ効率的な事業展開を図ることができる計画とします。
- **効率的で効果的な行財政運営をすすめる**
持続可能なまちづくりを進めるため、効率的で効果的な行財政運営をおこないます。

未来像の実現

令和3（2021）年度

- アンケート調査
 - ・まちの未来をかんがえるアンケート
 - ・市民実感調査

- 外部の有識者等で組織される総合計画審議会
→3回実施し「総合計画策定方針」を作成

○新しい総合計画のコンセプト

- ・みんなで作る計画
- ・わかりやすい計画
- ・みんなで達成をめざす計画



令和4（2022）年度（予定含む）

- 市長と語る かわにしMeeting
 - ・市長と市民の皆さんがまちのありたい姿について語り合い、思いを共有する場
 - ・市内14箇所で開催（手話通訳、ライブ配信有）

- 地域団体との懇話会
 - ・地域コミュニティの代表者等と市長が対話する場

- アンケート調査
 - ・市民実感調査
 - ・転出者アンケート



- 総合計画審議会
→4回実施、基本構想骨子案を作成

- かわにしミライ会議
 - ・まちの未来像を共に描き、それを実現するための方策を市民の皆様で話し合う場

- まちづくりの情報収集、意見交換ができるWEBサイトを開設

令和5（2023）年度

かわにしミライ会議等をもとに、川西がめざす未来像や、その実現のため優先的に取り組む方策を整理し、「総合計画案」を策定

その後、総合計画審議会やパブリックコメント、議会での審議等を経て、「第6次川西市総合計画」を策定



令和6（2024）年度

「第6次川西市総合計画」がスタート。つくった後も、**みんなで協力しながら**未来像の実現に向けて取り組む



令和13（2031）年度

計画の最終年度。「第6次川西市総合計画」に掲げたまちの未来像を**みんなで実現している**

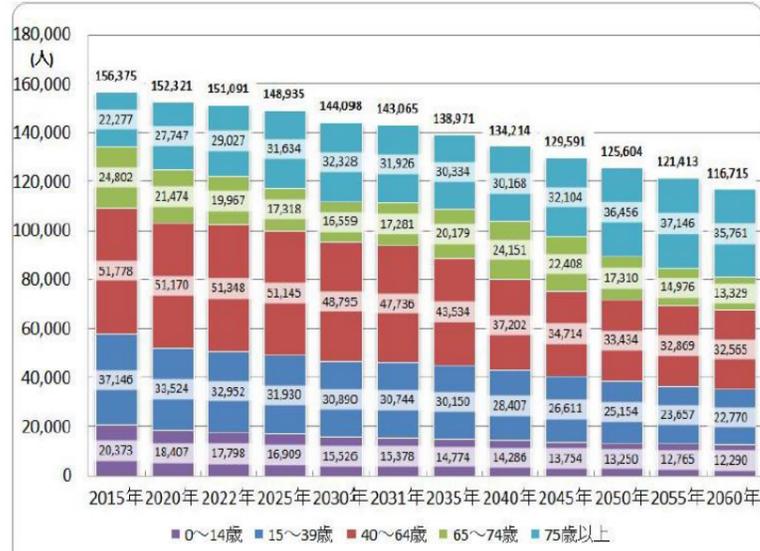


- 川西市の歩み
- 統計データ集、個別計画との関連
- SDGsとの関連
- 用語集

人口推移グラフ（年齢5区分別）

令和4年11月14日現在 暫定値

少子高齢化の進行と人口減少が継続する



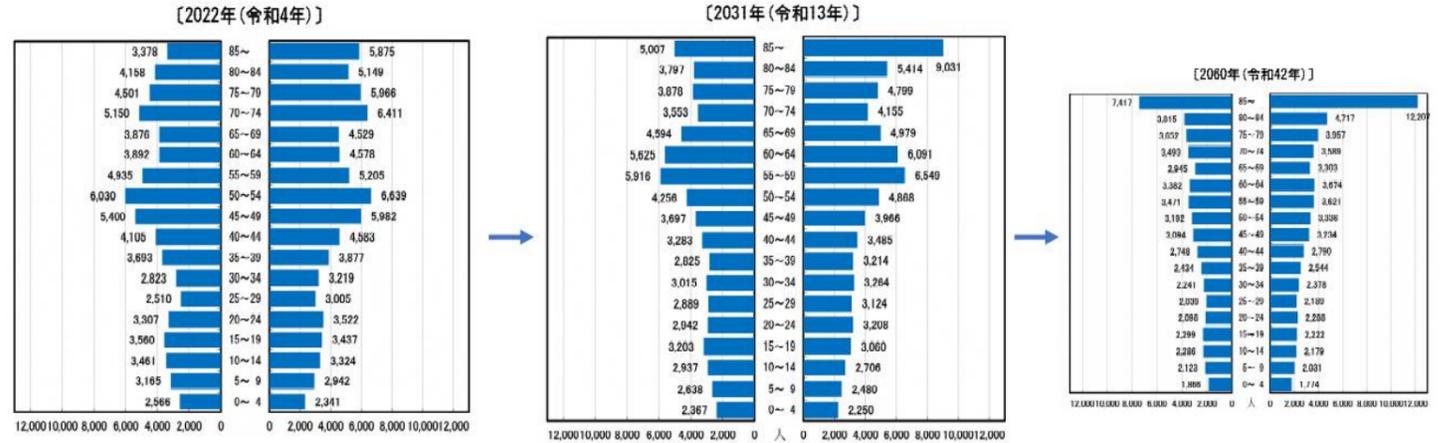
人口割合	2022年	2031年	2060年
75歳以上	19.2%	22.3%	30.7%
65~74歳	13.2%	12.1%	11.4%
40~64歳	34.0%	33.4%	27.9%
15~39歳	21.8%	21.5%	19.5%
0~14歳	11.8%	10.7%	10.5%

※少子高齢化が進むと、自治体の行政機能を、これまで通り維持していくことが困難になります。

5歳別人口比率（2022年・2031年・2060年比較）

令和4年11月14日現在 暫定値

少子高齢化の人口比率へと変化

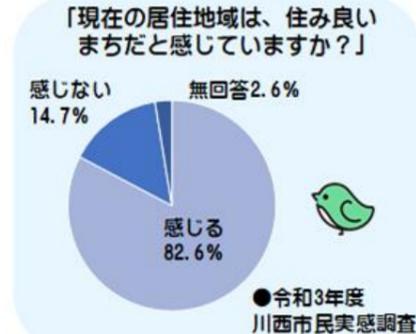


- ・2022年～2031年の期間でも、少子高齢化の人口比率へと変化している
- ・将来的には少子高齢化が急速に進行し、特に後期高齢者割合の増加が見込まれる

川西市って、こんなまち

50年以上前、大規模な住宅団地の開発が進んだことで、大阪や神戸市などのベッドタウンとして発展

南北に細長い地形で、タツノオトシゴに例えられることも



清和源氏にちなんだお祭りがある

「今から思えば、川西のここが良かったな」と思うところは？

生まれてからずっと住んでいましたが、自然も豊かで静かで住みやすいまちでした。昔は田舎な感じでしたが、能勢口の周りにもお店が増え、田舎と都会がちょうどいいくらいに合わさった所だと思います

市外に出た後、川西に戻って家を購入し、子育てしている同級生がたくさんいます。子育てするにはとてもいい環境なんだな、と改めて思いました

昼間は通学や仕事で市外に行っている人が多い

人口は平成17（2005）年の157,668人がピークで、以降はゆるやかに減少している

近年、30歳代女性と10歳未満の子の転入者数が、同年代の転出者数を上回っている

川西市での一番の思い出を教えてください

子どもが就園前の時期、パレットかわにしの子のプレイルームによく通いました。そこで出会った友達は今でも交流があり、宝物になっています

自然豊かな環境の中、毎日夫婦で散歩を兼ねた買い物に行っていました。カメラが趣味だったので、沢山撮影しました

三ツ矢サイダーは川西が発祥の地！「三ツ矢」の名前も、清和源氏の祖である源満仲が由来

大規模宅地などを開発する際に独自の方法を考案。「川西方式」と呼ばれ全国のニュータウン開発のお手本に！

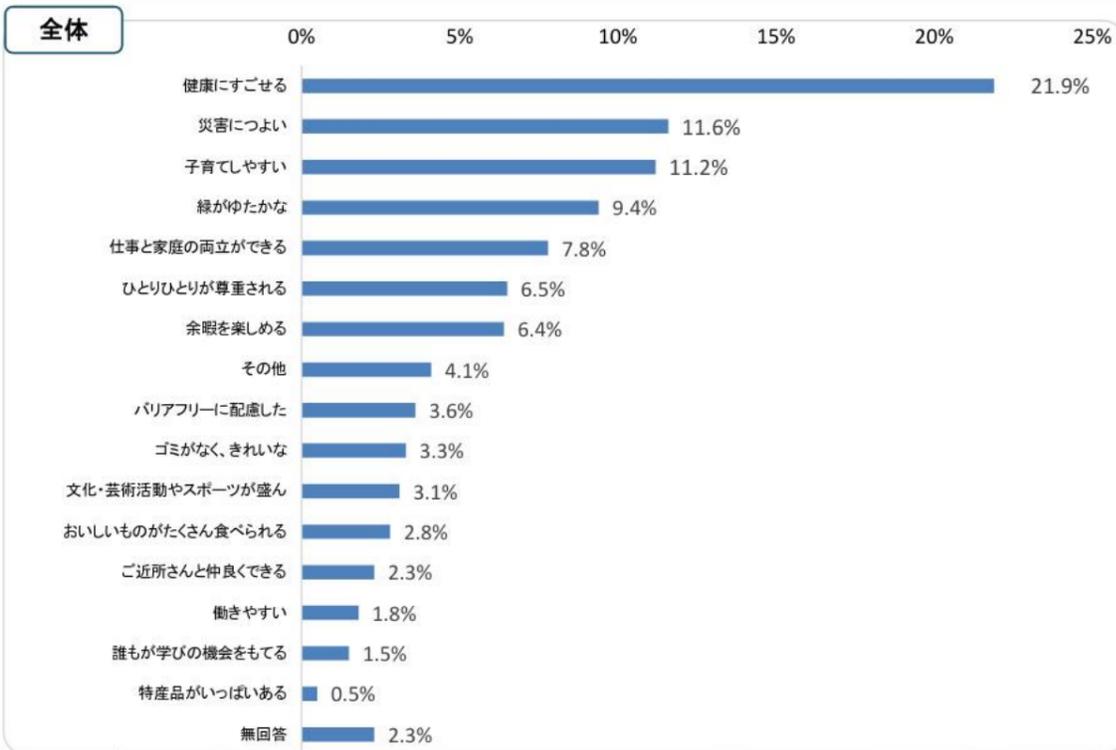
中央図書館によく行ってました。たくさん本がそろえてあり、見やすいので、お気に入りでした

小学校の給食で出てきた無花果ジャムが美味しかったです。今は中学校も給食制度になったみたいで、羨ましいなと思います

●転出者アンケート（R4.12月実施）本市から令和3年4月1日～令和4年3月31日の期間に転出した方のうち、2,000名を対象に実施

ただいま集計中です

問3 10年後、川西市がどんなまちであればいいと思いますか



市民アンケートの他、 高齢化率や小中学生の数など、 統計資料を記載

問4 お答えいただいたまちになるため、どんなことを大切にする必要があると思いますか(3つまで)

